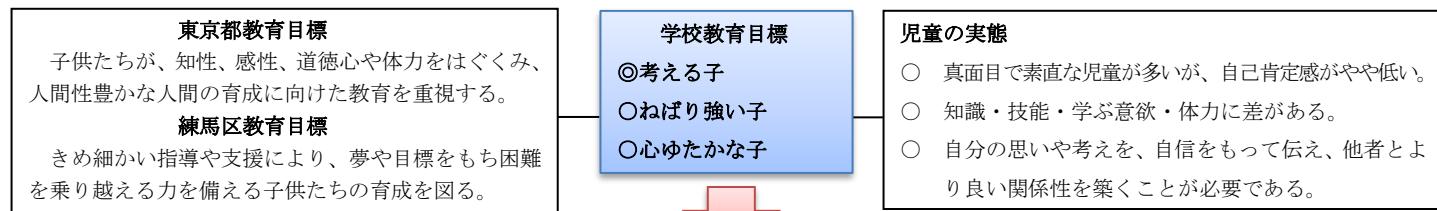


R5 学力向上を図るための全体計画

03 練馬区立豊玉小学校



学校経営方針（学力向上に関わる要点）

◎主体的に学び、確かな学力の向上を図る教育の推進

- ・学年段階に応じて、学習の基礎・基本を身に付けさせる工夫・積み重ねができるようにする。
- ・体験活動を重視し、児童に学習の目的や課題を明確にもたせ、その解決を目指した学習ができるようにする。
- ・児童が考え方判断し表現することを十分に経験させるとともに、指導者や児童相互で認め合う場を位置付け、協力して問題解決に取り組む。
- ・I C T（大型提示装置・実物投影機・学習者用端末等）の活用を図る等、児童にとってより分かりやすい授業を目指す。

各教科の指導の重点

◎児童自らが学び、自らが考える教育の推進を図る。

- ・学習のめあてを自らもち、すすんで学習に取り組む態度の育成
- ・基礎・基本の定着
- ・思考力・表現力・判断力の育成
- ・児童相互にかかわり合いながら、めあてが達成できるような支援

総合的な学習の時間の指導の重点

- ・生活や体験の中から、自ら課題を設定し、すすんで計画を立てて追究することができるようとする。
- ・学習を振り返り、修正を加え、先の見通しをもって活動を進めることができるようとする。
- ・内容や目的に合ったまとめ方や表現ができるようとする。
- ・体験や交流を通して、多様な考え方、生き方があることを理解し、学んだことを生活に生かすことができるようとする。



本校における「確かな学力」

知識・技能・学ぶ意欲・学び方・課題発見力・問題解決力、思考力・表現力・判断力

今年度の重点

学力と主体的に学び合う意欲の向上を目指した授業改善。

◎ 学ぶ意欲

自己肯定感を高め、よりよい関係性を築く力・自ら学び合い高め合う力を育むことで、児童自らが主体的に学習に取り組んでいけるようとする。

◎ 問題解決力・学び方

児童一人一人がめあて達成のために必要な情報を、学習資料として与えられ、児童相互に確認や助言をし合いながら、タブレット端末等を効果的に活用し、主体的に学習できるようとする。



めあて達成に向けて主体的に活動していく過程で思考力・表現力・判断力を高める



道徳教育の指導の重点

- ・集団の一員としての自覚をもち、思いやりや優しさなど人間性豊かな心をもつことができる。
- ・自他の命を尊重し、健康で明るく活力ある生活を送ることができる。
- ・めあてに向かって、主体的に取り組み、最後まで根気よくやり通すことができる。

特別活動の指導の重点

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

生活指導の重点

- ◎深く考え、正しく判断する児童
- ・集団の中で自分がどのように行動したらよいか考え、判断できるようとする。
- ・相手の気持ちや立場を理解し、互いを認め合い、より良い関係を築きながら、協力して行動できるようとする。
- ・自分の生活を振り返り、より良くしていこうとする態度を育てる。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・方法の工夫	教育過程編成上の工夫 小中一貫教育の視点	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>研究主題 「自ら課題を見付け、解決しようとする児童の育成」</p> <p>○導入の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が単元の内容を自分事として「やりたい」「考えたい」と思えるような魅力的な導入 ・考える「必然性」を生む。 ・考える「必要感」を生む。 <p>○単元後半まで意欲を持続させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に粘り強く取り組めるようにするための工夫 ・感染予防対策を講じた教育活動の工夫 ・自分と結び付かれるような工夫 ・タブレット端末等を活用した学習形態の工夫 	<p>○教員の授業力向上を図るために、月1回の校内研究日を基本とする。また、小中一貫研修会などを活用し、9年間を見据え、教育活動を工夫する。</p> <p>○授業中の個別指導に加えて、放課後など授業時間外にも個別指導を行えるよう時間を設定する。</p> <p>○教科担任制を取り入れることで、専門性の高い教科指導の実現を図る。</p> <p>○読書週間の設定</p> <p>○体育朝会・体育的活動の設定</p>	<p>○全教員が学習指導要領に基づいて、授業を行い、学年を基盤にした授業改善の日常化、研究研修の日常化に取り組む。</p> <p>○小中一貫教育実践校の研究を生かし授業に取り入れる。</p> <p>○日常の授業観察では、指導案を作成して校内で公開し合い、教員が互いに学び合って授業改善に生かす。</p> <p>○放課後など日常的に教員同士で学び合う場を設け、指導力の向上を図る。</p>	<p>○ねらいに則して評価計画を作成し、個に応じた評価を行う。</p> <p>○指導者が適切な支援を行うとともに、児童相互にかかわりをもたせ、自分の取組を振り返らせる。</p> <p>○ノートや学習プリント等を基に、指導者がその時間の活動を評価するとともに、次時へ向けての支援計画を立てる。</p> <p>○タブレット端末等を活用した評価の工夫</p>	<p>○ホームページや学校だよりで日常の授業や研究授業の様子を伝えたり、学習で使用したワークシートに保護者の記入欄を設けたりして、家庭、地域への啓発をしていく。</p> <p>○地域コーディネーターを通じて地域の人材を活用できるようにする。</p> <p>○学校関係者評価を授業改善に生かす。</p>